

Title	著訳者紹介
Author(s)	聖学院大学総合研究所
Citation	聖学院大学総合研究所紀要, No.6, 1995.3 : (1)-(4)
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=3384
Rights	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository for academic archiVE

〔著 訳 者 紹 介〕

(掲載順)

霜田美樹雄 しもだ・みきお

1920年生まれ。1947年早稲田大学政治経済学部卒業。名城大学教授，早稲田大学教授，のち同大学名誉教授。現在，聖学院大学政治経済学部教授。

〔著書〕『政治と宗教——ソ連邦政治の宗教政策——』『社会主義と宗教』『キリスト教は如何にしてローマに広まったか』（マルコポーロ賞受賞）『キリスト教は如何にして現代に生きるか』『神の存在』ほか。

松井弘明 まつい・ひろあき

慶応義塾大学大学院法学研究科政治学専攻博士課程終了。法学博士。防衛研究室長，聖学院大学政経学部教授を経て，現在，大東文化大学国際関係学部教授。

〔著書〕『ソ連の国防と東欧』『東西関係の戦略論的分析』（共著）『世界の政治システム』（共著）等多数。

吉田博司 よしだ・ひろし

1948年生まれ。1971年慶応義塾大学法学部卒業。1978年慶応義塾大学大学院法学研究科博士課程終了。法学博士（慶応義塾大学）。現在，聖学院大学政治経済学部教授。

〔著書〕『近代日本の政治精神』ほか。

初宿正典 しやけ・まさのり

1947年生まれ。1971年京都大学法学部卒業。1973年京都大学大学院法学研究科修士課程修了。現在，京都大学大学院法学研究科教授。

〔著書〕『基本判例憲法25講』『人権の現代的諸相』（共著）『ドイツ憲法集』（共編訳）『暇つぶしは独語で』『比較憲法入門』（阿部照哉編）ほか。訳書として，イエリネックほか『人権宣言論』ライプホルツ夫妻『ボンヘッフナー家の運命』ヘッセ『西ドイツ憲法綱要』（共訳）クラーレ『平和・自由・正義』（共訳）ほか多数。

富田広士 とみた・ひろし

1950年生まれ。1979年慶応義塾大学法学研究科政治学専攻博士課程修了。アメリカ、エジプト、ヨルダン、イギリスへ留学。中東政治経済論、現代エジプトの政治経済論専攻。現在、慶応義塾大学法学部教授。

〔論文〕『ナーセル、サダート両政権とエジプトの民間部門』『アラブ政権の正統性——ヨルダンとエジプト——』“The Decline of Legitimacy in Sadat's Egypt: 1979 - 1981” ほか。

永岡 薫 ながおか・かおる

1922年生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業。経済学博士（京都大学）。現在滋賀大学名誉教授、聖学院大学総合研究所教授。

〔著書〕『デモクラシーへの細い道——イギリスと日本』『イギリス革命——思想史的研究』ほか。訳書に、リンゼイ『民主主義の本質——イギリス・デモクラシーとビュウリタニズム』ほか。

ヴォルフハルト・パネンベルク Wolfhart Pannenberg

1928年シュテティーンに生まれる。1952年ハイデルベルク大学神学博士。1967年からミュンヘン大学神学部の組織神学正教授。

〔著書〕『神学と神の国』『人間とは何か』『キリスト論要綱』『組織神学の根本問題』『現代キリスト教の霊性』『信仰と現実』『神の思想と人間の自由』『形而上学と神の思想』『キリスト教社会倫理』『歴史としての啓示〕“Systematische Theologie” (3 Bde.) などがある。

ニクラス・ルーマン Niklas Luhmann

1927年リュネブルクに生まれる。フライブルク大学法学部卒業。1968年から1993年までビーレフェルト大学社会学部教授。

〔著書〕『社会システムのメタ理論』『社会システムと時間論』『宗教社会学——宗教の機能』『パラダイム・ロスト』『宗教論——現代社会における宗教の可能性〕“Liebe als Passion” など多数の著書と論文がある。

荒木忠義・ヨハネス あらき・ただよし

1959年ウィーン生まれ。1990年テュービンゲン大学神学部において『日本神学思想史における高倉徳太郎の生涯とその著作』で神学修士号を取得。現在、聖

学院大学総合研究所専任講師。

〔著訳書〕“Mission und Heilsgeschichte bei Karl Hartenstein” 聖学院大学論叢第4巻2号(1991)“Seelsorger und Seelsorge in einer permissiven Gesellschaft” 聖学院大学総合研究所紀要No.2(1991)『ベーター・バイヤーハウスにおける「霊の見分け」神学(diakrisis)』「キリスト教と諸学」第8号(1993)W.パネンベルク『キリスト教社会倫理』(共訳)W.パネンベルク編著『歴史としての啓示』(共訳)他
神学雑誌「形成」に(コラム)「ドイツ事情」を連載中。

グンター・トイブナー Gunther Teubner

1944年ヘルンフォートに生まれる。1970年テュービンゲン大学法学博士。1977年テュービンゲン大学法学部で Wolfgang Zöllnerと Ludwig Raiserの両教授の指導のもとで教授資格論文「制度民主主義と団体(連合)法。政治的に重要な団体(連合)のための法モデル」を提出。フランクフルト、ブレーメン、フレンツェ、ベルリン、ライデン、ボストンなどで教鞭をとる。

現在、London School of Economics and Political Science 法学部教授。

〔著書〕“Organisationsdemokratie und Verbandsverfassung” 1978, “Recht als autopoietisches System” 1989, “Entscheidungsfolgen als Rechtsgründe” 1994, “Ecological Responsibility of Enterprises” 1994など。

野崎和義 のぎき・かずよし

1953年岡山県生まれ。1977年中央大学法学部卒業。1989年中央大学大学院法学研究科博士後期課程刑事法専攻満期退学。現在、中央大学法学部講師、日本比較法研究所嘱託研究所員。

〔著書〕論文として、『近代的責任論の形成』『責任概念の目的論的構成』『法の実定性と禁止の錯誤』ほか多数。訳書に、ルーマン『信頼』(共訳)、トイブナー『オートポイエーシス・システムとしての法』(共訳)などがある。

ウィリアム・G・クレーラ William G. Kroehler

1931年、米国ミズーリ州に生まれる。ロッキーマウンテン大学(英文学専攻)卒業。スカーレット大学院(人類学・言語学専攻)修了。1959年、宣教師として来日。以来、1971年より女子聖学院短期大学学長、1978年より聖学院みどり幼稚園園長、また聖学院大学総合研究所副所長も兼任。

〔著書〕『愛のうちを歩む』『忘れないでほしい』

J・D・リード David Reid

1927年アメリカ生まれ。1949年 Illinois Wesleyan University 卒業 (A. B.)。1955年 Wesley Theological Seminary卒業 (M. Div.)。1965年 Harvard University 卒業 (Ph. D.)。1970年東京大学大学院宗教学宗教史学専攻博士課程単位取得満期退学。1950～1953年, 1959～1991年アメリカの合同メソジスト教会の宣教師として日本聖書神学校, 国際宗教研究所, 東京神学大学で教える。現在, 聖学院大学人学部長, 欧米文化学科教授。専攻, 宗教学, 宗教社会学。〔翻訳〕独英: Ernst Troeltsch, *The Absoluteness of Christianity and the History of Religions*。英和 (共訳): W・R・コムストック『宗教～原始形態と理論』T・ルックマン『現象学と宗教社会学～続・見えない宗教』。和英: 堀一郎その他編, *Japanese Religion* ほか。〔著書〕*New Wine: The Cultural Shaping of Japanese Christianity* ほか。